

# 国士館100周年創立記念祭

## 柔道部 (女子)

### 国士館大学柔道部の歩み

柔道部は、昭和31年国士館短期大学に体育科が増設されると同時に、戦後廃止された専門学校武道科柔道の伝統を引き継ぐ形として、会田彦一教授(当時八段)を部長に、上野孫吉講師(当時六段)を監督として、更に今村寿氏(当時六段)を指導陣に加えて創設された。その後、東正俊氏にも約2年間、尽力いただいた。

当時、新制大学としてスタートしたばかりの国士館の名は、まだまだ低く容易に部員も揃わず対外試合ができる状態になるまでには、それから更に4~5年かかった。その頃、外部からも師範として、三船久蔵十段、醍醐俊郎七段をお招きしてご指導いただいた。

昭和30年代は、何一つ実績のない柔道部にとってただただひたすら厳しい稽古に悶え苦しむといった、下積み時代であった。昭和30年代後半には、牛島辰熊氏、竹内善徳氏、昭和40年代には、岡野功氏、千葉翠諸氏らの協力を得て強化に努めた。こうした努力を積み、「苦節10年」と言われてきた昭和30年代の苦労と努力の集積がようやく華開き始めるのは40年代に入ってからである。

こうして見てみると、「女子柔道部」としての歩みはまだまだ浅く、男子と比べると創部してから30年程しかたっていない。しかし、創部される以前にも女子部員は活動していたこともあり、当時は女子だけで独立せず、男子部員とともに「国士館大学柔道部」として稽古に励んでいたようだ。一番古いもので、昭和56年の卒業記念写真に、西村理さんが男子部員の中に紅一点として写っている記録があり、これが国士館大学柔道部初の女子部員ということになる。

それから徐々に部員も集まるようになり、しっかりと「女子柔道部」として歩み始めてからは、全日本クラスの大きな大会にも出場している。一番初めの出場記録としては、昭和55年に行われた第3回全日本女子柔道選手権大会にて、本校の黒川琴美さんが見事準々決勝まで勝ち進んでいる。またそれから数年間の間に、今大会に加え、福岡国際女子柔道選手権大会、全日本女子柔道体重別選手権大会、正力杯全日本学生女子柔道体重別選手権大会など、数多くの全日本大会に出場してきた。その中でも、初めでの入賞となったのは、昭和59年に日本武道館で行われた第7回全日本女子柔道選手権大会でのことである。56キログラム級に出場した、河本美緒さんが見事3位入賞を果たした。これを口火に、それから数年の間に全日本クラスのタイトルをいくつも獲得し、男子だけでなく女子も「国士館大学柔道部」としての名を馳せていったのである。

また、団体戦では全日本学生柔道優勝大会の1992年、1993年と連覇を飾っている。また、その翌年の1994年でも3位入賞を果たしているが、今大会でのこれ以降の成績は残せていない。しかし、これと同じく全日本クラスの大会である全日本学生柔道体重別団体では、一昨年3位に輝いた。

国士館大学女子柔道部の歴史はまだまだ浅いが、今後更なる大きな目標を掲げ、チーム一丸となって歩んでいきたい。

### 国士館大学女子柔道部 戦績

#### 全日本学生柔道優勝大会

- 第一回大会 1992年 優勝
- 第二回大会 1993年 優勝
- 第三回大会 1994年 3位

#### 全日本学生女子柔道体重別団体優勝大会

- 2015年 3位

#### 全日本学生柔道体重別選手権大会

##### [歴代優勝者]

- 2013年 57kg級 柳楽祐里
  - 2015年 70kg級 池絵梨菜
  - 2016年 48kg級 岡本理帆
- ##### [歴代入賞者]
- 1986年 56kg級 平良久美子 3位
  - 1988年 52kg級 宇多田水子 3位
  - 61kg級 横手久仁子 3位
  - 61kg超級 黒川琴美 3位
  - 1989年 61kg超級 黒川琴美 3位
  - 1991年 56kg級 沼野由香利 3位
  - 1993年 61kg級 大泉佳子 3位
  - 66kg超級 五十嵐準子 準優勝
  - 1995年 48kg級 馬場なおみ尾 3位
  - 66kg級 鈴木恵美 3位
  - 1996年 48kg級 酒巻なお 準優勝
  - 52kg級 山田英里 3位

※1998年から、現在の7階級制となる。

- 2000年 63kg級 岩崎由美 3位
- 2002年 63kg級 青山梨沙 3位
- 2003年 63kg級 青山梨沙 準優勝
- 2004年 63kg級 青山梨沙 準優勝
- 2013年 48kg級 橘蘭舞 準優勝
- 2014年 70kg級 小川莉歩 3位
- 78kg級 太田紗智瑠 3位

#### 国際大会での活躍

- 山本杏(2016年武道学科卒)
- 57kg級
- [主な戦績]
- 2013年 グランドスラムパリ 準優勝
- ワールドマスターズ 5位
- 世界選手権 個人戦 5位
- 世界選手権 団体戦 優勝
- グランドスラム東京 3位
- 2014年 グランドスラムパリ 優勝
- グランドスラム東京 5位
- アジア大会 優勝
- 2015年 ユニバーシアード 3位
- グランプリ青島 3位
- 世界選手権 団体 優勝
- 2016年 アジア選手権 タシュケント 3位
- グランプリ青島 3位
- 岡本理帆(2016年武道学科卒)
- 48kg級
- [主な戦績]
- 2013年 ヨーロッパオープン・ソフィア 準優勝
- グランプリ・デュッセルドルフ 優勝
- ワールドマスターズ 3位

#### 池絵梨菜(武道学科3年)

- 70kg級
- [主な戦績]
- 2015年 ヨーロッパオープン・ソフィア 7位
- グランドスラム東京 5位
- 2016年 グランプリ・ウランバートル 優勝
- グランプリ・青島 優勝



平成 28 年 東京学生柔道優勝大会 優勝記念



池絵梨菜 2015 年 全日本学生体重別柔道大会 優勝



柳楽祐里 平成 25 年 全日本学生柔道体重別選手権大会 優勝



山本杏 2012 年 仁川アジア大会 優勝  
2014 年 グランドスラムパリ 優勝 (写真提供:JfF)



平成 27 年 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 3 位



岡本理帆 平成 29 年 全日本学生柔道体重別選手権大会 優勝